

200 海里水域内漁業資源総合調査

渡辺 健一・上田 幸男・浜 誠祐
井元 栄治・乃一 啓司

本調査は、水産庁から示される 200 海里水域内漁業資源総合調査委託実施要領に基づき実施するもので、昭和 52 年度から調査が行われている。

平成 2 年度の本県における調査の内容と実施状況の概要を記す。

1 漁獲状況、漁業資源生物調査

1) 漁獲成績報告書の収集報告（水産課担当）

沖合底びき網 4 統、中型まき網 1 統について関係漁協から毎月提出される漁獲成績報告書を水産庁へ送付報告した。

2) 生物測定調査（水試担当）

(1) 市場調査員の配置と体長測定調査

生物統計上必要な資料収集を目的とし、和田島、福村、牟岐および鞆浦に市場調査員を配置した。市場調査員は、調査対象魚種（和田島 - シラス、福村 - マダイ、牟岐 - イワシ類、サバ類、マアジ、鞆浦 - イワシ類、サバ類、マアジ、ブリ、スルメイカ）について、指定期間中に月 3 回を目標に体長測定を実施し、同時に月 1 回の精密測定用のサンプルを採集した。この他、小松島 - ガザミ、マダイ、椿油 - イワシ類、サバ類、マアジおよびマダイについては水試が調査を実施した。

調査結果は、水試で所定の調査表に転記し、必要事項を付記した上で南西海区水産研究所へ送付報告した。

(2) 魚体精密測定調査（水試担当）

各魚種について月 1 回精密測定（体長、体重、性および生殖腺重量）を実施し、調査結果を南西海区水産研究所へ送付報告した。

(3) 標本船調査（水試担当）

標本船による漁業、生物情報の資料を収集するため小型機船底びき網 5 隻、瀬戸内海機船船びき網 1 統、中型まき網 1 統、小型定置網 1 統、モジャコまき網 5 隻および機船船びき網 1 統を選び操業実態細目調査表への記帳を依頼した。調査表は水試で点検し、必要事項を付記した上で南西海区水産研究所へ送付報告した。

2 魚卵稚仔量調査

1) 卵稚仔魚分布基本調査

対象海域(定線名): 紀伊水道(ナ - セ - 2)

調査項目: 卵稚仔

調査定点: 21 点

調査方法: 丸特ネット 50m 0m 垂直採取, 丸稚ネット表層採取

2) 魚卵稚仔量集中調査

対象海域(定線名): 海部沿岸(ナ - 2 - 2), 海部沖合(ナ - 2 - 3)

調査項目: 卵稚仔・プランクトン・魚群量

調査定点: 35 点

調査方法: 丸特ネット 150m 0m 垂直採取, 丸稚ネット表層採取

以上の調査結果は, 所定の調査表に整理し南西海区水産研究所へ送付報告した。